

# 水口中学校生徒が広報課で職場体験学習 仲間の頑張る姿を伝えたい

市内6校全ての中学校では毎年、2年生の生徒に職場体験学習を行っています。生徒たちが将来の進路を決めていく上で、経験を通して働くことの意義を考えることを目的としています。

受け入れる事業所は多種多様ですが、働く皆さんの輪に入り、お客様への対応や仕事に向き合う姿にふれながら、貴重な経験をします。

市広報課では今年、水口中学校の4人の生徒を受け入れました。同じ仲間の頑張る姿を伝えたいという思いで取材し、考え合ってつくりあげた紙面です。なお、テレビ体験の様子は7月18日から放映します。



甲賀市教育委員会  
山本佳洋 教育長

## 足らざるを知り、良さを知る

中学2年生という学年は、いよいよ自分の進路を考え始める時期にさしかかっています。

生徒達は小学校から学習や体験を重ね、少しずつ力を蓄えながら夢や希望を膨らませています。

そのような中、学校を離れて大人と会話をしたり、実際の仕事を体験すると、自分の力が通用するのかが、これから何をやらねばよいのかということに気づくことができます。

自分の力の足りないところを見つけたら、良いところを確認して、それを伸ばそうとする、それが体験学習の目的と言えるでしょう。

## 自立できる力、身に付けて

県教育委員会の事業として、チャレンジウィークと呼んでいます。知らない場所や知らない人と触れ合い、校内ではできない体験を通して視野を広めてほしいと思います。

選択できる仕事は限られており、就きたい仕事があるかもしれません。しかし、仕事をするこの大変さや、職場や社会の仕組みなどを知る機会にしてほしいと願っています。

そして、大人の生き様に触れて、これまでの自分の生き方を見つめ直し、将来社会人として自立できる力を身に付けてくれることを望んでいます。



水口中学校  
西村文一 校長

## 経験から進路の幅広がりへ

職場体験を通して、特に礼儀やマナーの必要性を感じ取ってほしいと思っています。

中学2年生は気恥ずかしい年頃で、自分から挨拶ができなかったり、声をかけても返事ができない生徒が多くいます。しかし、職場体験から戻ってくると、自分からあいさつできるようになっていたり、掃除やホームルーム活動で仲間や友達に気を配る生徒が増えていくことに気づきます。

今後、自分たちが進路選択を行うとき、この経験から将来を描き、進路の幅を広げることに結びつくものと思っています。



水口中学校 2年担任  
村田弘法 教諭

# 楽しかった、難しかった、生徒たちが体験した広報



人との  
出会いは大切  
永田ブルナ

私は、人との出会いは大切だと思います。

私は、職場体験でいろんな人と知り合いました。みんなとても優しい人だと思いました。優しく教えてくれたのでうまく取材やインタビューやビデオカメラや写真カメラが使えるようになりました。人との出会いは、新しい友達をつくっていくきっかけだと思えます。友達が多いほど幸せだと思えます。私は、友達がいっぱいいます。とても幸せですが、もっとつくりたいと思います。職場体験をして良かったと思います。とても楽しかったです。



楽しかった  
貴重な体験  
振角和古

私は、職場体験でテレビの仕事のの様子を見せていただいたりと楽しかったです。

中でもテレビの取材が心に残っています。カメラはとても重かったですが、私は実際にテレビに出るよりもカメラで撮影しているほうが楽しかったです。広報課の方にもカメラのぶれがほとんど無いと、褒めていただきました。

この職場体験でやった事は、大人になってもなかなかやる事は出来ないで、とても貴重な経験をさせて頂きました。



伝える難しさが  
分かった  
松浦アリネ

私はこの五日間広報を体験し、人に伝える難しさが分かりました。

まず、ビデオカメラでインタビューをすることからはじまりました。インタビューは、なにを聞いたら一番分かりやすいのか、ビデオカメラは、どのように撮ったら見やすいのか、すごく考えました。

今までは、テレビや新聞など、あまりにも考えずに見ていましたが、このような体験をして、大変さが分かったので、これからは、テレビや新聞などの情報を、改めて素晴らしいと思う、大切にしていきたいと思えます。五日間とても楽しかったです。



分かりやすい  
記事に悩んだ  
玉木藍葉

私は、この職場体験で広報紙を作りました。

広報紙をつくるときはレイアウトを考えたり、取材に行ったり、取材で聞いた内容をまとめて記事にしたりしました。私が広報紙をつくるにあたって一番大変だったことは、記事をつくることです。実際に聞いたお話を読者にどうやって分かりやすく伝えるかということにすごく悩みました。そのときにいろんな人が協力してくれて、記事を完成させることができました。

広報紙はいろんな人がいろんな苦労をしているのだなと思えました。

